

# 十六銀行のCSR

## 地域の皆さまとじゅうろく

十六銀行は、岐阜県・愛知県を主要な地盤とする地域金融機関として、地域経済の活性化に積極的に取り組み、豊かで住みよい地域社会の実現に貢献したいと考えています。

### 金融円滑化

#### 金融円滑化に向けた取り組みについて

当行は「十六銀行は金融機関としての公共的使命を遂行することによって地域社会に奉仕する」を基本方針として、地域金融の円滑化を最も重要な責務と捉え、お客さまの資金ニーズや借入れ条件の見直しなどのご要望に対して積極的に取り組んでまいりました。

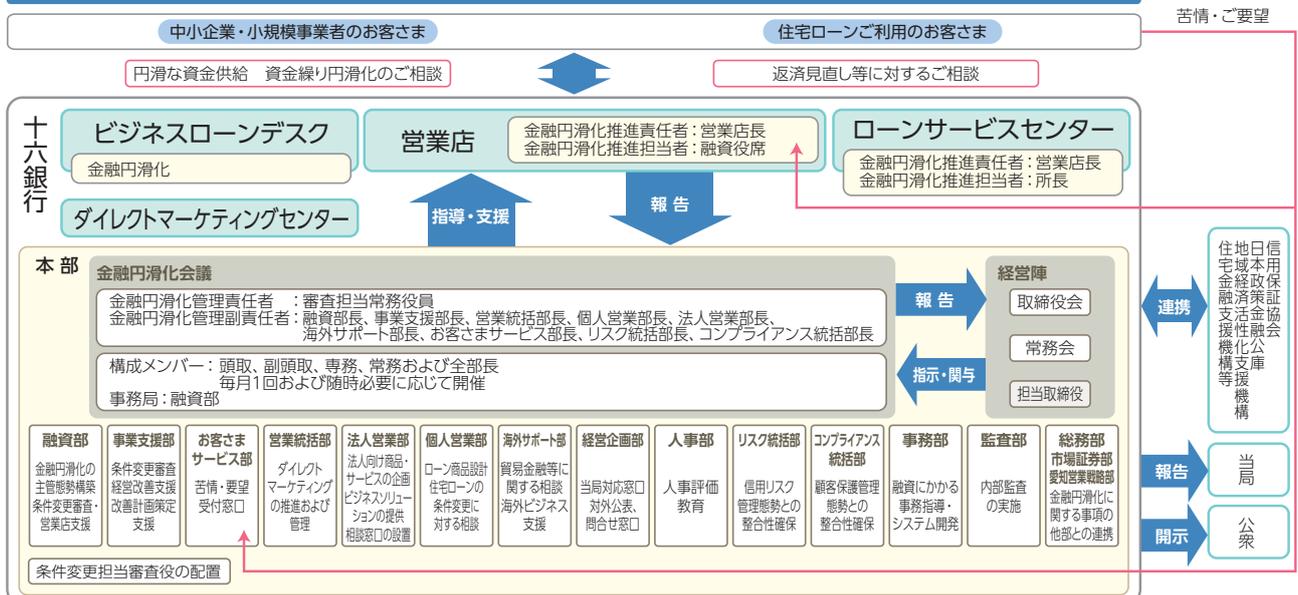
当行では、中小企業等のお客さまや住宅ローンをご利用されているお客さまからの各種ご相談にきめ細やかにお応えできるよう、平成21年12月、本部内に「金融円滑化会議」を設置するなど、行内態勢を整備しました。

平成25年3月末に「中小企業金融円滑化法」の期限が到来しましたが、これからも地域金融機関として、適切かつ積極的な金融仲介機能を発揮し、一層の金融円滑化に向け、金融円滑化に関する基本姿勢を変えることなく、迅速、的確、丁寧な対応に努めてまいります。

#### 金融円滑化に関する基本方針

- ① ご相談等に対する真摯な対応
- ② 適切な融資審査の実施
- ③ 説明の徹底
- ④ 中小企業・小規模事業者のお客さまからのお申込みへの対応
- ⑤ 住宅ローンをご利用されているお客さまからのお申込みへの対応
- ⑥ ご意見、ご要望および苦情への対応
- ⑦ 条件変更等の実施後のフォロー態勢
- ⑧ 経営実態ならびに成長性および将来性等を適切に見極めるための能力の向上
- ⑨ 金融円滑化管理態勢整備
- ⑩ 行内における周知

#### 金融円滑化への態勢



※「金融円滑化会議」は、経営陣のもと、審査担当部署および法人・個人の営業推進部署をはじめとするすべての部長からなる会議で、地域の中小企業および住宅ローンのご利用のお客さまに対する金融の円滑化に適切に対応するため、その取り組み状況を検証し具体的な対応策を検討・実施するために創設するものです。

## 地域密着型金融

### 地域密着型金融とは

地域密着型金融とは、「金融機関が顧客との間で親密な関係を長く維持することにより顧客に関する情報を蓄積し、この情報を基に貸出等の金融サービスの提供を行うことで展開するビジネスモデル」と定義されています。

## 地域密着型金融推進に関する基本方針

### ● 基本的な取組方針

地域金融機関の最大の競争力は、質の高いリレーションシップを通じて地域のお客さまの真のニーズを把握し、そのニーズを満たす最も適切な金融サービスを提供していくことにあります。地域密着型金融の強化は、まさしく地域金融機関としての競争力の強化であり、地元中小企業の支援・育成、地域経済への貢献等は、当行の経営基盤強化そのものであります。

地域金融機関である当行が、地域経済の発展と自らの収益向上をはかるために注力すべき手段としては、リレーションシップ機能を強化していくことが極めて

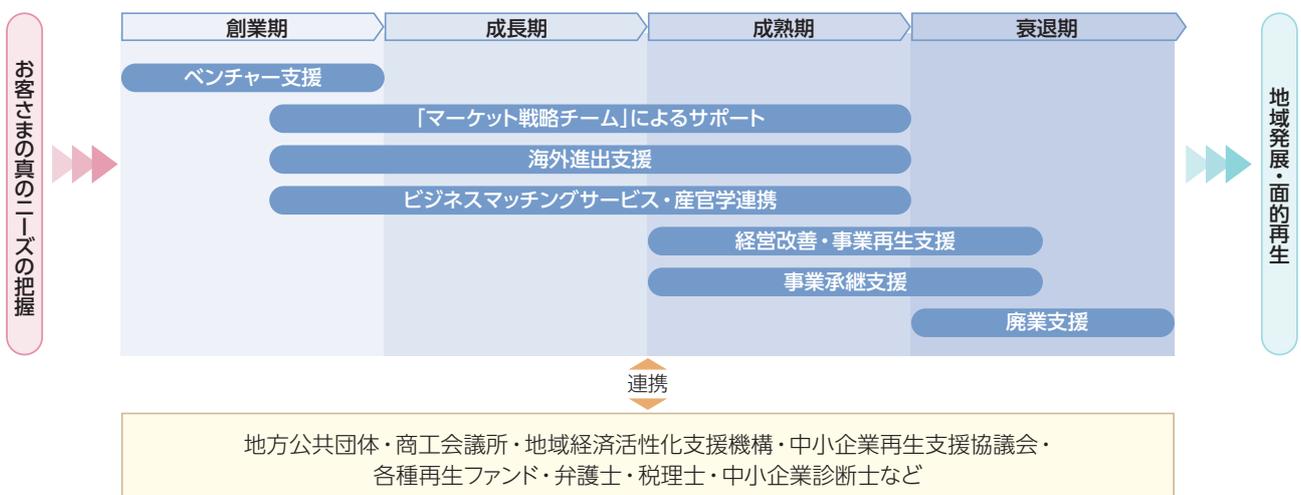
重要であることから、地域密着型金融の取組みを経営の柱として位置づけ、地域に根ざした経営を実践してまいります。

① ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

② 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

③ 地域の情報集積を活用した、持続可能な地域経済への貢献

## 中小企業の経営支援にかかる態勢



## 地域密着型金融の取組みについて

平成26年4月からスタートした第13次中期経営計画では、地域密着型金融の推進を基本戦略のひとつとして掲げ、「第6次地域密着型金融推進計画」に基づき、中小企業等の経営支援や地域経済の活性化等に継続的に取り組んでおります。

### ● 主な取組み

#### 重点項目 お取引先に対するコンサルティング機能の発揮

### ● 具体的な施策

#### 創業・新事業の開拓を目指すお取引先へのサポート

- 「十六フロンティア第3号投資事業有限責任組合」の活用による投資の取組み  
十六銀行グループは、新規上場を目指すベンチャー企業向けの投資ファンド「十六フロンティア第3号投資事業有限責任組合」を設立し、出資を通じて地元企業に対する起業・新事業展開支援を行っております。
- 「NOBUNAGA21地域経済活性化セミナー」の開催 [P.25へ](#)
- 「医療機器・福祉用具参入セミナー vol.5」の開催 [P.26へ](#)

#### 成長段階におけるさらなる飛躍が見込まれるお取引先へのサポート

- サプライヤー探索サービス(逆見本市商談会)の取組み [P.24へ](#)
- 「省エネ設備投資補助金セミナー」「設備投資税制セミナー」の開催 [P.24へ](#)
- 『「中部金融M&Aネットワーク」第13回M&Aセミナー』の開催 [P.24へ](#)
- 「第5回補助金・助成金サポートセミナー」の開催 [P.25へ](#)
- 「航空機販路拡大セミナー」の開催 [P.25へ](#)
- 「コスト削減につながる 省エネ活用術-省エネ支援制度説明会-」の開催 [P.26へ](#)
- 「第11回三行ビジネス商談会」の開催
- 「エアロマート名古屋2014」に向けた「参加募集説明会」の開催協力
- 「航空機産業知的財産セミナー」の開催協力
- 「ミュージックセキュリティーズ株式会社との業務提携によるクラウドファンディングの活用推進」
- 「アセアン リージョナルカンファレンス 2014」の開催 [P.27へ](#)
- シンガポール向けクロスボーダーローンの取扱開始と第1号案件の成約 [P.28へ](#)
- ベトナム投資開発銀行(BIDV)への研修生派遣に関する合意書の締結について [P.33へ](#)
- アジア進出サポート強化のため名古屋大学と覚書を締結 [P.33へ](#)
- 「東海元気企業・外国人留学生交流フォーラム」の開催
- 「ハラルセミナー」(下呂市・高山市)の開催
- 「FBC広東2014(日中ものづくり商談会)」の開催
- 「2014大連-地方銀行合同ビジネス商談会」の開催
- 「地銀合同セミナー・交流会@広州」の開催
- 「チャイナビジネスセミナー&交流会in上海 2014秋」の開催
- 「自動車関連企業のためのメキシコ進出支援セミナー」の開催
- 「広域連携 お取引先交流会 in バンコク」の開催

## 経営改善、事業再生・業種転換が必要とされるお取引先へのサポート

経営改善支援取組み対象先213先の経営改善支援に積極的に取り組み、151先について再生計画を策定しました。その結果、12先について債務者区分のランクアップをはかることができました。

- 中小企業再生支援協議会等の外部機関と連携し、お取引先の経営改善支援に取り組みました。
- ぎふ中小企業支援(官民一体)2号ファンドを活用し、お取引先の事業再生支援に取り組みました。
- 岐阜県中小企業診断士協会との連携
- 「中期経営計画策定セミナー」の開催
- 地域経済活性化支援機構との「特定専門家派遣業務」にかかる業務提携

## 事業承継を必要とされるお取引先へのサポート

企業オーナーさまのビジョンに基づき、「経営の承継」「資産の承継」の両面から事業承継が円滑に進められるように、承継計画の立案から実行までフルサポートしています。また、後継者問題を抱える企業オーナーさまに対しては、「事業の存続」を第一義とし「親族外承継」も視野に入れた幅広いソリューションを提供しています。

- 企業オーナーさまへの事業承継コンサルティング(個別相談)の取組みを強化
- 「プライベートバンキングセミナー(相続セミナー)」を開催

## ● 主な取組み

### 重点項目 地域の面的再生への積極的な参画

#### ● 具体的な施策

- 公益財団法人あいち産業振興機構と業務提携に関する覚書を締結 [P.25へ](#)
- 「じゅうろくPFI/PPPセミナー」の開催 [P.25へ](#)
- 「食品産業活性化セミナー」の開催 [P.26へ](#)
- 「清流の国ぎふ 食の商談会」の開催 [P.26へ](#)

## ● その他

#### ● 具体的な施策

- 「十六銀行卓球教室 ～目指せ!オリンピック!!～」の開催 [P.29へ](#)
- 「かがく・さんすうアカデミー8」の開催 [P.29へ](#)
- 「じゅうろくキッズフェスタ!」の開催 [P.29へ](#)
- 「第九回全国高校生金融経済クイズ選手権エコノミクス甲子園 岐阜大会」の開催 [P.30へ](#)
- 「じゅうろくプロムナードコンサート2014」の開催 [P.30へ](#)

# 十六銀行のCSR 地域の皆さまとじゅうろく

金融円滑化

地域密着型金融

地域の皆さまとのお取引状況

地域経済のために

海外進出支援

地域社会のために

地球環境のために

## 地域の皆さまとのお取引状況

### 地域の皆さまへの貸出の状況

貸出金残高に占める岐阜・愛知県内での貸出金残高割合は87.1%、貸出先数に占める岐阜・愛知県内での貸出先数割合は99.5%です。今後も引き続き、地域経済の発展に貢献できる金融機関を目指します。

#### 岐阜・愛知県内での貸出金残高割合

(岐阜・愛知県内での  
貸出金残高/貸出金残高)

(平成27年3月31日現在)  
貸出金残高 3兆8,656億円



#### 岐阜・愛知県内での貸出先数割合

(岐阜・愛知県内での  
貸出先数/貸出先数)

(平成27年3月31日現在)  
貸出先数 147,795先



### 中小企業等に対する貸出の状況

貸出金残高に占める中小企業等への貸出金残高割合は72.5%(2兆8,029億円)です。

#### 岐阜・愛知県内での中小企業等貸出金残高割合

(岐阜・愛知県内での  
中小企業等貸出金残高/  
中小企業等貸出金残高)

(平成27年3月31日現在)  
中小企業等貸出金残高  
2兆8,029億円



#### 岐阜・愛知県内での中小企業等貸出先数割合

(岐阜・愛知県内での  
中小企業等貸出先数/  
中小企業等貸出先数)

(平成27年3月31日現在)  
中小企業等貸出先数  
147,224先



### 個人に対する貸出の状況

#### 岐阜・愛知県内での個人向け貸出金残高割合

(岐阜・愛知県内での  
個人向け貸出金残高/  
個人向け貸出金残高)

(平成27年3月31日現在)  
個人向け貸出金残高 1兆1,951億円



#### 岐阜・愛知県内での個人向け貸出先数割合

(岐阜・愛知県内での  
個人向け貸出先数/  
個人向け貸出先数)

(平成27年3月31日現在)  
個人向け貸出先数 121,987先



### 地域の皆さまからのお預入の状況

平成27年3月末時点での預金等残高5兆3,874億円のうち、岐阜・愛知県内での預金等残高は5兆3,326億円で、99.0%を占めています。

#### 岐阜・愛知県内での預金等残高割合

(岐阜・愛知県内での  
預金等残高/預金等残高)

(平成27年3月31日現在)  
預金等残高 5兆3,874億円

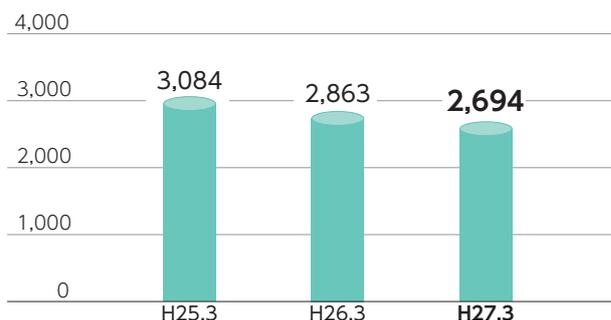


※預金等には譲渡性預金を含みます。

### 信用保証協会保証債務残高

信用保証協会保証債務残高

(単位：億円)



## 地域経済のために 経済活性化活動

十六銀行は、地域経済の活性化を支援してまいります。

### ○ サプライヤー探索サービス 「逆見本市商談会」の取組み

地域経済の基幹産業である製造業(自動車・航空機・医療機器等)に専門担当者(3名)を配置し、製造業どうしのBtoB(企業間の物品の売買やサービスの提供)マッチングを効率的に行う仕組みを提供しています。具体的には、中堅・大企業(バイヤー)個社ごとに「サプライヤー探索サービス」を提案し、保有する発注ニーズを、支店ネットワークを通じてお取引先の中小企業に展開、エントリーを促し、「逆見本市商談会」として最終的に個別商談を実現します。商談会は月2回程度のペースで定期的開催しています。平成26年度には、35回の商談会を開催し、商談件数は465件となりました。

これまでの延べ回数は、商談会78回、商談件数1,075件となっております。



〈以下のようなサプライヤー探索ニーズに対応できます〉

- ◆ 難加工や処理を発注したい。
- ◆ 二社購買・三社購買にしたい。
- ◆ 小ロットや試作品製作ができる企業を探している。
- ◆ 小回りのきく近隣の業者を探している。
- ◆ 新しい開発パートナーを探したい。
- ◆ 新しい分野に参入するため、パートナーを探している。

※当行の逆見本市商談会への取組みは、「平成25年度 地域密着型金融に関する取組みへの顕彰について」として、東海財務局より顕彰を受けました。

### ○ 「省エネ設備投資補助金セミナー」の開催

平成26年12月16日、一般財団法人省エネルギーセンターと共催で、「エネルギー使用合理化等事業者支援補助金」等、省エネ設備投資を対象とした補助金に関するセミナーを開催しました。国のエネルギー政策が省エネに軸足を移すなかで「エネルギー使用合理化等事業者支援補助金」等、省エネ設備投資を対象とした補助金の予算措置額が大型化したため企業の関心が高まり、セミナーには100名のお客さまが参加しました。

### ○ 中部金融M&Aネットワーク 「第13回M&Aセミナー」の開催

平成26年11月26日、名古屋マリオットアソシアホテルにて、中部金融M&Aネットワーク(当行・名古屋銀行・百五銀行による共同プロジェクト)主催の「M&Aセミナー」を開催、企業経営者の方を中心に約100名のお客さまが参加しました。

本セミナーでは、M&Aで会社を譲渡された経験を持つ株式会社SEVENTEEN代表取締役円山広行氏を講師に招き、「人生を謳歌するための三方良しのM&A」と題した講演を行うなど、中堅中小企業のM&A活用に関する情報提供を行いました。



### ○ 「設備投資税制セミナー」の開催

生産性の高い設備投資を行うと即時償却または税額控除の税制メリットが受けられる「生産性向上設備投資促進税制」「中小企業投資税制」など設備投資税制について、岐阜・愛知の支援機関と連携したセミナーを平成26年11月～平成27年1月にかけて各務原・豊田・一宮・春日井の4ヶ所で開催し、延べ150名のお客さまが参加しました。



豊田会場の様子

## 「NOBUNAGA21 地域経済活性化セミナー」の開催

平成27年2月27日、ベンチャー企業、起業家の発掘・育成をはかり、地域経済の活性化・発展に貢献することを目的として「NOBUNAGA21地域経済活性化セミナー」を開催しました。本セミナーでは「第10回NOBUNAGA21ニュービジネスプラン助成金」の授賞式と最優秀企業さまのビジネスプレゼンテーション、および株式会社ライドオン・エクスプレス代表取締役社長兼CEO 江見 朗氏より、『「怒らない経営」～ライドオン・エクスプレスの成長戦略～』と題した講演を行いました。



「第10回NOBUNAGA21ニュービジネスプラン助成金」授賞式の様子

## 公益財団法人あいち産業振興機構と業務提携に関する覚書を締結

公益財団法人あいち産業振興機構と当行は、平成26年10月28日に業務提携を行いました。同法人は愛知県知事指定の中小企業支援センターで、「愛知県よろず支援拠点」開設を機に、地域金融機関との連携のより一層の強化を目的に提携を行うこととしたものです。

当行は、売上拡大や販路開拓、資金繰り等に課題を抱える中小企業や小規模事業者をあいち産業振興機構へつなげることで課題解決をはかっていきます。



## 「第5回補助金・助成金サポートセミナー」の開催

「ものづくり・サービス補助金」「省エネ補助金」など、平成26年度補正予算で措置された主な補助金について、平成27年2月～3月にかけて、多治見・岐阜・名古屋・刈谷の4ヶ所でセミナーを行い、延べ450名のお客さまが参加しました。



名古屋会場の様子

## 「航空機販路拡大セミナー」の開催

平成27年3月9日、中小機構中部との共催で、MRJの初飛行を控え期待の高まる当地区の航空宇宙産業について、当分野での受注を増やしたい企業を対象に、業界内の販路開拓を進める方法を解説する、標記のセミナーを開催しました。会場には45名のお客さまが参加しました。



## 「じゅうろくPFI／PPPセミナー」の開催

公共施設の老朽化対策が大きな課題となっているなか、平成26年4月15日(第5回)と平成26年10月21日(第6回)の2回にわたり、岐阜県・愛知県の自治体担当者等を対象として、公共施設整備の新たな手法であるPFIやPPPについての情報提供を目的とした「じゅうろくPFI／PPPセミナー」を開催しました。



### 「医療機器・福祉用具参入セミナーvol.5」の開催

平成26年5月13日、日本能率協会グループと共催し、成長分野として注目を集める医療機器・福祉用具の事業分野に中小企業が参入するための方法について情報提供するセミナーを開催し、自動車関連産業をはじめ60名のお客さまが参加しました。



### 「食品産業活性化セミナー」～新たなアグリビジネス創出のために～の開催

平成26年9月17日、じゅうろくプラザにおいて、食品産業の活性化をはかることを目的として農業者、食品製造加工・販売流通業者などを対象に、ヒット商品創出の秘訣やファンドを活用した新しいビジネスモデルの事例を紹介するなど、事業拡大に向けた情報提供を行いました。



### 「コスト削減につながる 省エネ活用術ー省エネ支援制度説明会ー」の開催

平成26年6月23日、中部経済産業局と共催し、企業の関心が高まっている省エネ支援制度(エネルギー使用合理化等事業者支援補助金等)や、今からでも始められるコスト削減方法について解説する説明会を開催し、約50名のお客さまが参加しました。



### 「清流の国ぎふ 食の商談会」の開催

平成26年7月17日、岐阜県内の農林漁業および食品産業全般の振興をはかるため、岐阜県内で生産されたこだわりの農産物・加工食品等を一堂に集めて、食品バイヤーとのマッチングをはかる「清流の国ぎふ 食の商談会」を開催しました。

当行、岐阜県、岐阜県JAグループの3者が連携しての商談会開催は、初の試みとなります。



## じゅうろく 掲 示 板



### 清流の国ぎふ移住プラン



岐阜県と当行は、互いの人的資源等を活用し、相互に幅広い連携・協力関係を深め、移住者や定住者を増やすことで、岐阜県の地域振興に寄与することを目的として、平成27年6月3日に「**移住定住促進に関する協定**」を締結しました。

お客さまへの支援の一環として、協定の締結と同日に、岐阜県への移住を希望されるお客さまに向けた専用の住宅ローン「**清流の国ぎふ移住プラン**」の取扱いを開始しました。

また、社会問題となりつつある「空き家問題」に対する取組みとして、移住者に空き家を賃貸するために行うリフォームにもサポートできる商品「**空き家リフォーム・解体サポートローン**」の取扱いも開始いたしました。

当行は、岐阜県と連携し、県外から移住を希望されるお客さまへの支援を通じて、地域の活性化に貢献してまいります。

## 海外進出支援

十六銀行は、皆さまの海外事業展開を支援いたします。

アジア新興市場の拡大により、お取引先企業の海外販路開拓・海外現地生産への取組みが広がっています。十六銀行では、本年3月に、シンガポール駐在員事務所、バンコク駐在員事務所を開設しました。上海・香港を含めた海外駐在員事務所4拠点ならびに9カ国にまたがる13の提携金融機関による海外サポート体制により、お取引先企業の海外進出支援の取組みを、より一層強化してまいります。

### シンガポール駐在員事務所の開設

シンガポールは、アセアンの“金融・情報センター”として、金融をはじめとした総合的な情報が集まり、金融機関やお取引先企業のアセアンにおけるハブ拠点が集積しています。

2015年に予定されているAEC(アセアン経済共同体)発足により、今後、シンガポールの役割が一層重要性を増すことが予想されます。シンガポール駐在員事務所を開設し、同地域の金融、経済などの現地情報を横断的に収集・提供することにより、お取引先企業の海外事業展開への支援を行ってまいります。



シンガポール駐在員事務所 開所式

### バンコク駐在員事務所の開設

タイは、アセアンの“ものづくりの拠点”として、自動車関連を中心にお取引先企業の現地法人が、アセアンの中で最も多く進出しています。

これまで、当行では、業務提携先であるカシコン銀行ヘトレーニーを派遣するなど、同行の協力のもと、お取引先企業のサポートを行ってまいりました。今後は、バンコク駐在員事務所の開設により、カシコン銀行との更なる協働を行うことで、タイおよび周辺国におけるお取引先企業の支援体制を強化していきます。



バンコク駐在員事務所 開所式

### 「アセアン リージョナル・カンファレンス 2014」の開催

平成26年8月27日、28日に、3回目となる「アセアン リージョナル・カンファレンス2014」を開催しました。

経済成長を続けるアセアン地域のうち、特に、進出企業が多いインドネシア、タイ、ベトナムの各国大使館、投資機関、当行海外提携金融機関による、投資環境、現地事情などの情報提供に加え、各国関係者との交流の場を設けさせていただきました。

2日間にわたるカンファレンスには、駐日タイ王国大使、駐日インドネシア共和国公使、駐日ベトナム社会主義共和国投資部長をはじめとして、約130社のお取引先企業が参加し、それぞれ活発な意見交換・交流が行なわれました。



### 「外国送金 SMART Entry」(外国送金インターネット申込サービス)の取扱開始について

平成27年1月19日より、新サービス「外国送金 SMART Entry」の取扱いを開始しました。「外国送金 SMART Entry」は、あらかじめ、お客さまが当行ホームページ上で外国送金の内容をご入力することにより、店頭窓口で外国送金依頼書が自動作成される新しいタイプのサービスです。

ご利用にあたっての事前のお申込やご登録は一切不要であり、ご自宅やオフィス、外出先などから、当行ホームページにアクセスいただければ、いつでもどこでも外国送金の内容をご入力いただけます。

本サービスにより、お客さまに外国送金依頼書を店頭窓口で手書きいただく労力を削減し、スピーディーな外国送金のお手続きが可能となります。

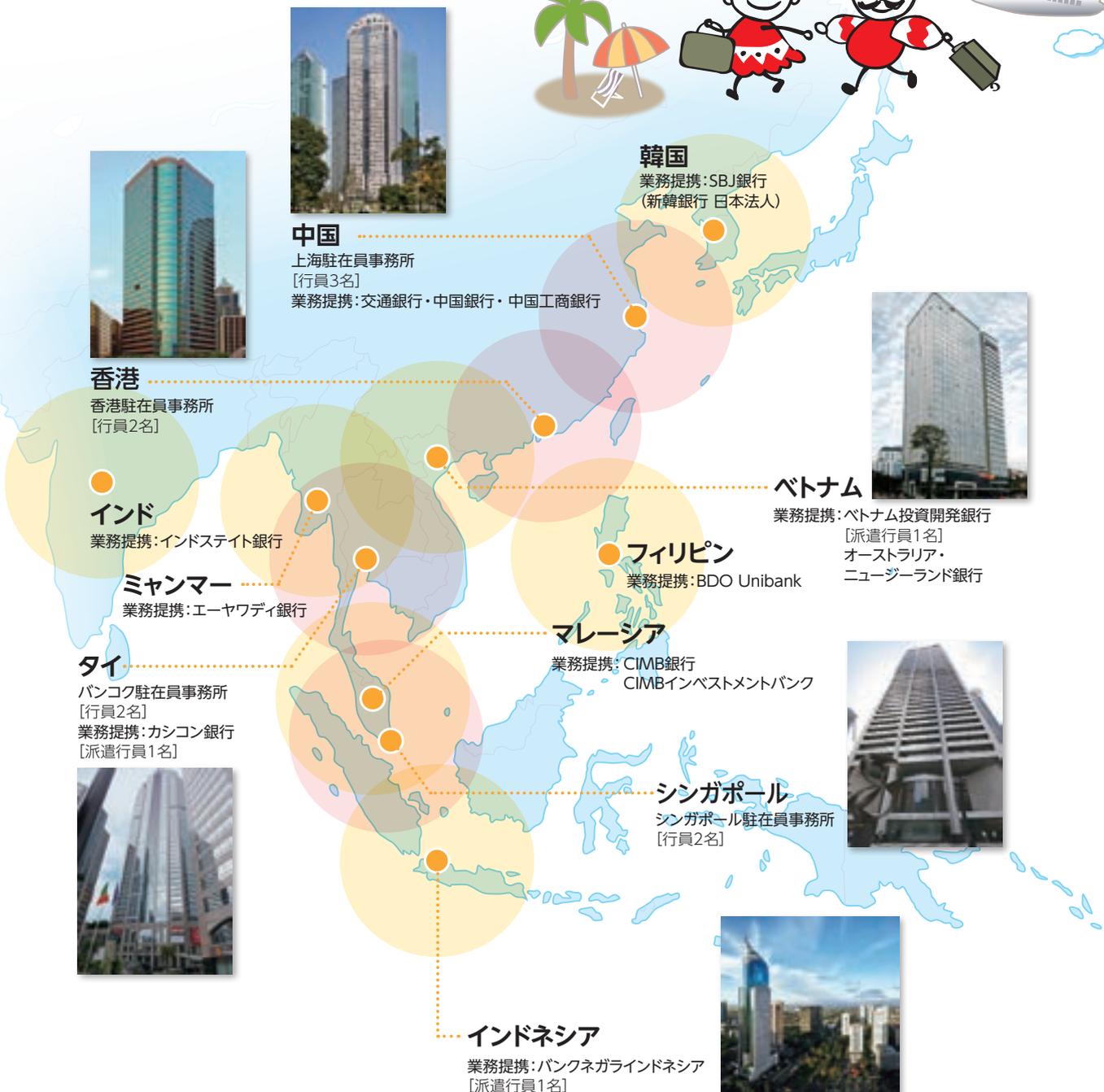
## シンガポール向けクロスボーダーローン (海外現地法人向けの直接貸付)の取扱いについて

これまで、お取引先企業の海外現地法人で発生する資金ニーズに対しては、日本の親会社が資金調達窓口となり、親会社からの資金貸付(いわゆる親子ローン)により、資金調達を行なうことが主流となっておりました。

こうした中、当行では、お取引先企業の海外現地

法人における資金調達手段の多様化、為替リスクの低減を図るべく、すでにタイ・バングコックにてクロスボーダーローンを取扱っておりますが、平成26年9月に、新たにシンガポールのお取引先企業現地法人向けにクロスボーダーローンを取扱いしました。

クロスボーダーローンの取扱いにより、海外進出における金融面でのサポート体制を強化していきます。



## 地域社会のために 社会貢献

十六銀行は、豊かで住みよい地域社会の健全な発展に貢献しています。

### 卓球部の活躍

～地域の皆さまに愛されるチームを目指して～

当行卓球部は昭和55年創部以来、皆さまのあたたかいご支援のもと地道な努力を重ね、日本卓球リーグ実業団連盟に加盟し、活躍しています。

また、競技活動と併せて、地域主催の卓球教室などに積極的に参加し、卓球競技の普及・レベル向上に努めています。



### 「十六銀行卓球教室

～目指せ! オリンピック!!～」の開催

岐阜県内の若手有力選手の育成、強化を目的として、平成27年2月11日に、じゅうろくてつめいギャラリーにて「十六銀行卓球教室～目指せ! オリンピック!!～」を開催しました。

当教室では、岐阜県卓球協会の協力のもと、同協会が選抜した中学生の女子12名に十六銀行卓球部が技術指導を行いました。

参加者からは、「分かりやすく教えてもらえた」、「アドバイスをもらって勉強になった」といった喜びの声が多く聞かれるなど、盛況のうちに終了しました。



### 中部学院・十六銀行産学連携

「かがく・さんすうアカデミー8」の開催

平成26年7月6日、中部学院大学との共催により、同大学各務原キャンパスにおいて、地域の子どもたちの科学的・数学的なものの見方を醸成することを目的とした親子で楽しめる体験型イベント「かがく・さんすうアカデミー8」を開催しました。



### 「ぎふ清流ハーフマラソン」に協賛

平成26年5月18日に開催された「第4回高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン」に地域貢献を目的として、協賛しました。地元の高校生と共同でブースを運営し、高校生が企画・販売したベーグルの売上金相当額の一部を当行が共同の善意として寄付するという取組みをしました。



### 「夏休み親子特別企画」

《じゅうろくキッズフェスタ!》について

平成26年7月29日、30日に、当行の栗野研修所にて「夏休み親子特別企画」《じゅうろくキッズフェスタ!》を開催しました。5回目となる今回は、応募総数679通の中より、抽選で2日間合計100組200名さまをご招待しました。

実際に行員が使用している営業店端末機を使って「通帳作成模擬体験」を行ったほか、「お金に関するクイズ」や「親子で学ぶお金塾」を開催し、お金の大切さや銀行の役割について楽しく学びました。また、「当行卓球部に親子で挑戦」や「食品サンプル作り」、「カブトムシふれあい体験」などを通じて、夏休みの親子の思い出作りをお手伝いしました。

各種イベントでは子どもたちの笑顔がはじけるなど、終始大変な盛り上がりとなりました。



## 「エコノミクス甲子園 岐阜大会」の開催

岐阜県内の高校生に楽しみながら金融経済を学んでいただくことを目的として、平成26年12月14日に、当行本店ビルにて「第九回全国高校生金融経済クイズ選手権エコノミクス甲子園 岐阜大会」を開催しました。

岐阜大会は、今回で5回目の開催となります。

当日は、前日より降り続いた雪にもかかわらず、岐阜県内の高校生6校13チームが元気に会場を訪れ、金融経済の知識を競い合いました。



## 公益財団法人十六地域振興財団による地域貢献活動

十六地域振興財団は、地域社会への貢献を目的として設立され、地域における産業振興、社会生活環境の整備、文化・スポーツ・国際交流などの活動を助成により支援しております。

平成26年度は43件、976万円の助成実績となっております。また奨学生支援事業も行っており、平成26年度は63名の奨学生に対して年間2,440万円の奨学金を給付しております。



(美濃市制施行60周年事業)  
ギネスに挑戦!!! 手すき和紙の様子  
(助成対象事業)



## 「じゅうろくプロムナードコンサート」の開催

地域の皆さまに、芸術・文化に触れていただく機会を提供することを目的として、平成26年11月25日に、長良川国際会議場にて「じゅうろくプロムナードコンサート2014」を開催しました。

今回で18回目となる本コンサートには、応募総数3,285通の中から450組900名さまをご招待し、“名フィル”の愛称で親しまれている東海地方を代表するオーケストラ「名古屋フィルハーモニー交響楽団」と、今をときめく15歳の天才ピアニスト、牛田智大氏の共演によるロシアプログラムをお楽しみいただきました。



## シニアのための「くるるセミナー」(岐阜大学・十六銀行産学連携プロジェクト)

当行は、岐阜大学と連携し、健康やパソコン、地域の歴史や身近な自然、音楽や文学など、楽しく参加していただけるセミナーを各種開催して、皆さまのシニアライフを応援しています。



## 地球環境のために 環境保全活動

十六銀行は、お客さまのさまざまな環境活動を支援いたします。

### 「環境方針」の制定

当行は平成25年4月に当行グループ全体の「環境方針」を制定しました。

この「環境方針」に掲げた「基本理念」や「行動指針」に基づき、本部・営業店の全役職員が、目標を持って環境保全問題に取り組んでいます。

#### 環境方針

##### 基本理念

十六銀行グループは、環境保全への取り組みを社会全体で果たすべき責務であると認識し、地域社会に奉仕する良き企業市民の責任として、事業活動を通じて環境問題に誠実に取り組むことで、持続可能な社会の形成に貢献するとともに企業価値の創造につなげます。

##### 行動指針

1. 環境関連の法律、規則、協定等を遵守します。
2. 環境保全への取り組みは経営課題のひとつであると認識し、活動の情報開示に努めます。
3. 自らの企業活動による環境への影響を正しく捉え、省エネルギー・省資源等の環境負荷の軽減に努めます。
4. 環境に配慮した金融商品・サービスの開発・提供を通じ、お客さまの環境保全の取り組みを支援します。
5. 長期的な視野に立ち、幅広く社会と連携・協力し社会貢献活動を推進します。
6. 役職員一人ひとりの環境意識の向上をはかるため、啓発・教育を行います。

### 栗野グラウンドに太陽光発電所設置

十六銀行では、国のエネルギー政策(再生可能エネルギーの固定価格買取制度)に則り、栗野グラウンドに太陽光パネル容量37.5kwの太陽光発電所を平成26年8月に設置しました。

この発電所は太陽光発電により電力を生み出すだけでなく、岐阜大学の研究や大学生の教育、小中学生の見学等に利用しております。



### 環境に配慮した店舗作り

平成26年11月25日に新築移転オープンした刈谷支店では、ヒートアイランド緩和効果としてグリーンカーテン(壁面緑化)や最大5kw発電する太陽光発電システムを設置しております。

太陽光発電にて発電した電力は、営業室・ロビー等の電力に利用し、省エネルギーに努めております。



## ◎ 岐阜大学との環境分野における連携事業

当行と岐阜大学は、平成24年4月に環境分野における覚書を交わし、さまざまな連携事業を行っています。

### ① 環境施設見学ツアー「太陽光発電を身近に感じよう!!」を開催

平成26年8月28日、岐阜県の後援も得て、産学官連携施設見学会「太陽光発電を身近に感じよう!!」を企画。当行栗野研修所においてソーラーカーの組み立て・走行実験を行った後、ソーラーパネルの製造元である三菱電機中津川製作所の工場見学を実施しました。



### ② 「ポスターコンクール」

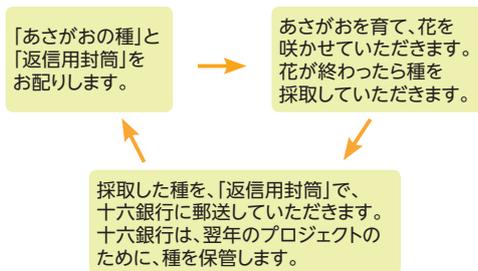
岐阜大学付属小中学校の生徒を対象とした「エコ活動啓発ポスターコンクール」には、夏休み期間に描かれた多くの力作が集まります。優秀作品は、岐阜大学学長より表彰され、大学構内に展示されるほか、当行が行う環境イベントにおいて、啓発グッズのデザインなどに活用されます。



平成26年度 ポスターコンクール金賞作品

### ③ 「エコがつながる種まきプロジェクト」

当行は、岐阜大学、岐阜市地球温暖化対策推進委員会と連携して、平成26年5月より、「エコがつながる種まきプロジェクト」を展開しています。プロジェクトの概要は次のとおりです。



返送された封筒には、あたたかいコメントが添えられています。



種と一緒にかわいいあさがおの絵を同封していただきました。

平成26年度は、約4,000名のお客さまに約40,000粒の朝顔の種を配布し、約45,000粒の種を返送していただきました。中には、あさがおの絵が同封されているものもありました。今後も、このプロジェクトを続け、お客さまとともに環境保全活動を行っていきます。